

スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

2017年5月10日

国内株式市場は、足元で年初来高値を更新し、中期的にも上昇基調を辿ることが想定されます。当ファンドでは、テクノロジー関連銘柄や建設関連銘柄など、内需・外需を問わず幅広い分野のなかから、中期的にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率の上昇が見込まれる銘柄に注目し、選別投資しております。

1. 現在の投資環境

国内株式市場は3月中旬から4月中旬にかけて軟調な展開となったものの、その後は急反発し、日経平均株価は5月8日には年初来高値となる19895.70円にまで上昇しました。足元で株価が上昇している背景として、主に以下の要因が考えられます。

① 海外情勢に対する不透明感の後退

- ・フランス大統領選挙で「親EU(欧州連合)路線」を掲げていたマクロン氏が勝利し、EUを巡る政治リスクが後退した。
- ・北朝鮮による核・ミサイル開発を巡り、米トランプ大統領が対話による解決に前向きな姿勢を示したことなどから、地政学リスクが後退した。

② 円安ドル高の進行

地政学リスクの後退により、投資家のリスク回避姿勢が後退したことに加え、良好な米雇用統計の結果などを受けて米国の6月利上げ観測が高まり、米長期金利が上昇し、日米金利差が拡大したことなどから、円安ドル高が進行した。

③ 海外株式市場に対する出遅れの修正

年初来、海外の主要株価指数に比べ、相対的に株価が出遅れていたなか、上記①による投資家のリスク許容度の高まり、上記②による国内企業の業績拡大期待などから、日本株式への見直し買いが入った。

市場動向



(期間)2016年12月30日～2017年5月8日(日次)
(出所)Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

2. 今後の見通し

① 中期的に上昇基調を辿ると予想

IMF(国際通貨基金)による2017年の世界経済の成長率見通しの引き上げに見られるように、生産活動の改善などを背景とする世界的な景気回復が見込まれることから、輸出関連企業の業績拡大基調が続くと予想されます。加えて、日本の2017年の成長率見通しの上方修正幅が、他国・地域に比べ相対的に大きいことなどから、内需関連企業についても業績拡大の恩恵を享受することが想定されます。

また、日銀の上場投資信託(ETF)買入れなど需給面でも良好な環境が見込まれます。このため、国内株式市場は中期的に上昇基調を辿ることが予想されます。

IMFの経済成長率見通し

	2016年	2017年			2018年		
	実績	1月時点	4月時点	修正幅	1月時点	4月時点	修正幅
世界全体	3.1%	3.4%	3.5%	+0.1%	3.6%	3.6%	+0.0%
米国	1.6%	2.3%	2.3%	+0.0%	2.5%	2.5%	+0.0%
EU圏	1.7%	1.6%	1.7%	+0.1%	1.6%	1.6%	+0.0%
日本	1.0%	0.8%	1.2%	+0.4%	0.5%	0.6%	+0.1%
中国	6.7%	6.5%	6.6%	+0.1%	6.0%	6.2%	+0.2%

(出所)IMFのWorld Economic Outlook より岡三アセットマネジメント作成

② 短期的には米トランプ大統領の政策推進への懸念などがリスク

ただし短期的には、米トランプ大統領の政策推進への懸念や地政学リスクが完全には払拭されていないことなどから、投資家心理の振れに左右される不安定な展開となる可能性も想定されます。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

3. 当ファンドにおける対応

当ファンドでは、世界的な景気拡大や企業業績の回復など良好な外部環境が続くと予想されるなか、内需・外需を問わず幅広い分野のなかから、中期的にROEや売上高営業利益率の上昇が見込まれる以下の銘柄等に注目し、積極的スタンスで投資を続けています。

▶ テクノロジー関連銘柄

注目点 : AI(人工知能)やIoT(Internet of Things、モノのインターネット)など新たな市場の創出により、中期的な利益成長余地が大きいと見られる。
主な組入銘柄 : ソニー、ソフトバンクグループ、東京エレクトロン

▶ 設備投資関連銘柄

注目点 : 世界的な情報通信分野の投資拡大や省力化、自動化投資の拡大などにより、高い成長性や収益性が見込まれる。
主な組入銘柄 : 古河電気工業、安川電機、ミスミグループ本社

▶ 建設関連銘柄

注目点 : 国内建設工事の増加や採算性の改善などにより、収益性の向上が予想される。
主な組入銘柄 : 清水建設、西松建設、関電工

▶ 消費関連銘柄

注目点 : 賃金上昇や国内の景気回復による消費環境の改善等から、業績面で恩恵を享受すると見られる。
主な組入銘柄 : セブン&アイ・ホールディングス、ドンキホーテホールディングス、資生堂

※上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

今後も、主にROEや売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目した銘柄の選別を進め、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

(注)当ファンドの運用は「日本優良成長株マザーファンド」を通じて行っております。

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
- 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を享受することを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
- 「円投資型」については、外国為替予約取引等は行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン（米ドル投資型）/（円投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2017年5月8日)

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	11,039円	11,149円
純資産総額	9,999,510,173円	1,042,599,414円

設定来分配金累計	3,000円	1,800円
分配金再投資 基準価額	14,248円	13,101円

※基準価額は1万口当たりです。
※分配金は1万口当たり、税引前です。
※分配金再投資基準価額は小数点以下を切り捨てて算出しております。

	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	93.4%	93.4%
マザーファンド	96.2%	96.2%
為替予約比率	93.5%	---

※株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた株式の実質組入比率です。
※為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

日本優良成長株マザーファンド	
株式組入比率	97.0%
組入銘柄数	59銘柄

※株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	16.8 %
2	化学	12.6 %
3	建設業	8.2 %
4	機械	7.3 %
5	小売業	6.5 %
6	卸売業	5.6 %
7	銀行業	5.0 %
8	輸送用機器	5.0 %
9	非鉄金属	4.5 %
10	保険業	4.2 %

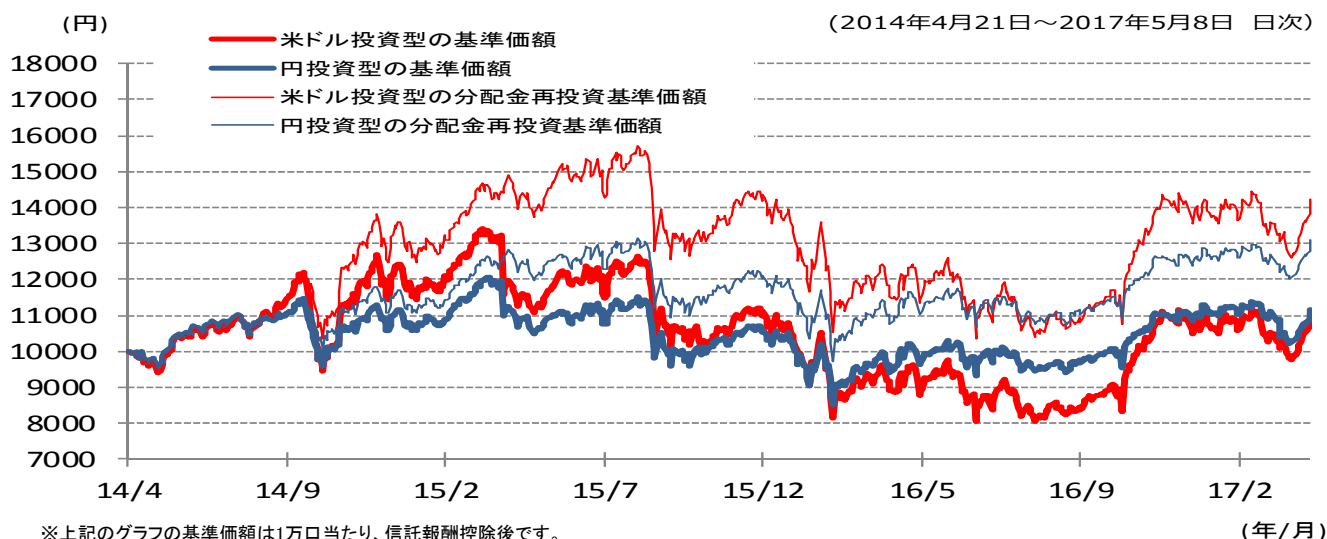
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	古河電気工業	4.5 %
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.1 %
3	ソニー	4.0 %
4	ソフトバンクグループ	3.8 %
5	清水建設	2.9 %
6	スズキ	2.5 %
7	東京エレクトロン	2.4 %
8	クラレ	2.3 %
9	東京海上ホールディングス	2.3 %
10	セブン&アイ・ホールディングス	2.3 %

※業種、銘柄の各構成比は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

設定来の基準価額の推移

(2014年4月21日～2017年5月8日 日次)



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。

※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
西日本シティIT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問合わせ先> 岡三アセットマネジメント株式会社 カスタマーサービス部
フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)